

OSK KHJ 岡山きびの会

平成 12 年 9 月 20 日
第 3 種郵便物認可(毎月 25 日発行)

平成 28 年 6 月 17 日 OSK 増刊通巻 435 号

<http://kibinokai.ciao.jp> 「メッセージ・21」

第 153 号(平成 28 年 6 月)



(JR 児島駅の階段、ジーンズが描かれています)

『KHJ 岡山きびの会』のご案内

2016 年度 年会費 正会員 6000 円 賛助会員 3000 円
月例会参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1000 円
郵便振込先 01380-6-77803 KHJ 岡山きびの会
※ご入会・ご寄付は随時受け付けております。
連絡先 会長 川島焔三 〒708-0821 津山市野介代 5 2 6 - 3 0 【電話】090-7541-5263
居場所 岡山市北区表町 1 丁目 4-64 上之町ビル 4 階 (市電・城下電停すぐ、アーケードに隣接)
月・水・土曜：午前 11～午後 4 時、金曜：午後 1 時～6 時 (詳しくは巻末をご覧ください)

「KHJ 岡山きびの会」の願い

不登校・ひきこもりの子どものことで悩んでいる親どうしが情報を交換し、親の気持ちが癒され、元気づけられ、「この子がいてくれて本当に良かった」と心から思えるようになることを目指します。そして本人たちが自分の意思と選択と決定において生き生きとして社会参加できるようになることを支援します。

グループでの話し合いの約束

- ここでの話はここだけのことにしましょう。
- 相手の話は受容しながら聴きましょう。
- 非難・批判はしないようにしましょう。
- 長く会に参加している人は新しい人に手をさしのべましょう。

<6月例会のお知らせ>

日 時 平成 28 年 6 月 1 2 日 (第 2 日曜日) 午後 1:30~4:30
場 所 きらめきプラザ 2 階 ゆうあいセンター 大会議室
岡山市北区南方 2 丁目 13-1 電話: 0 8 6 - 2 3 1 - 0 5 3 2
内 容 ● 演題 「悩みのグループワーク」
講師 精神保健福祉士 矢田初恵 (「KHJ 岡山きびの会」副会長)
● ひきこもり相談会 (役員による来談者へのオリエンテーション)
参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1,000 円

<7月例会のお知らせ>

日 時 平成 28 年 7 月 1 0 日 (第 2 日曜日) 午後 1:30~4:30
場 所 きらめきプラザ 2 階 ゆうあいセンター 大会議室
岡山市北区南方 2 丁目 13-1 電話: 0 8 6 - 2 3 1 - 0 5 3 2
内 容 ● 演題 「不登校・ひきこもりについて考える」
講師 「NPO 法人東京シューレ」理事長 奥地圭子先生
● ひきこもり相談会 (役員による来談者へのオリエンテーション)
参加費 特別講演により参加者一律 1,000

不登校体験から得たもの

「フリースペースあかね」代表 中山 遼

1. 小学校時代の不登校

小学校入学後、5年時の途中まで不登校だった。姉も当時不登校をしていて、母親は深刻なうつ病だった。そんな中、当時の校長先生が母の話を定期的に聞いてくれるようになり状況が変わった。「遼君のことは学校に任せて、お母さんは家で笑っていてくれたらいいですよ」と母に向かって校長先生は言ったという。母は肩の荷が下り、自然と家での笑顔が増えたことで、私もその笑顔を見て「自分も元気になっていいんだ」と素直に思えるようになった。

それから、発表会の招待状ということでクラスから手紙が届いた、そこには、幼稚園の時から知っている子の名前もあり、すごく温かい言葉が並んでいた。私の中に学校に対する興味がほんの少しだけ湧いた、「学校ってもしかしたら怖い場所じゃないのかもしれない」。その時、母は「行ってみる？それとも行かない？」という選択肢を、並列に示してくれた。それにより私は、私の意志で選べる環境を与えられた。

そこで、私は大きな勇気を出し、発表会に参加。それから少しずつ少しずつ学校に行くようになった。いつも学校も親も友達も私に選択肢を並列に示してくれて、私が選べるようにしてくれたのがありがたかった。逃げる選択をしたとしても「そうなんだね」と捉えてくれた。長く学校を休んでいてできないことだらけにも関わらず、いつもできたことに焦点を合わせて、加点評価をし、自発的な向上心を育ててくれた。そうしているうちに私は6年性のときには学校に完全復帰していた。

2. 当時の私を勇気づけてくれたこと

当時、私の力を引き出してくれたのは、とにかく毎回選択肢をくれて選ばせてくれたこと。そして、いつも「加点評価」で見てくれたこと。学校へ行き始めた当初の私を、減点評価で見たらキリがなかった。制服は着てこない、親と一緒に来る、授業はドタキャンする、宿題もしてこない、テストも受けない、友達との交流もできない、係活動もしない、掃除も自分の担当すらわからなくて毎回教えないといけない。もし、そういうところばかりを見られて、減点評価をされていたら、きっと、自分でも自分自身のことを減点評価で見て、どんどん自信をなくしていたと思う。

周りの大人が加点評価で見てくれたおかげで、私自身も、自分のことを、「不登校していたのに、こんなこともできるようになった」と加点評価で見ることができ、少しずつ自信をつけていけたのだと思う。

私には1歳半の甥っ子がいるが、誰に言われなくても時期がくると、勝手に自分で立ち上がろうとし、勝手に歩き出そうともする。そして、ちょっと疲れたり、嫌なことがあったら、母親のところに行って安心感を得て、それからまた気を取り直して何か始めたりする。みんな誰もほんとは成長したい。そこに安心基地さえあれば人は自ら歩み出すと私自身の経験から思う。

3. 不登校の現状

全国の小中学生約 12 万人が不登校で、ひきこもりの若者は約 60 万人とされています。私が数字以上に問題と考えているのは、どこの相談機関にも関わっていない子どもがいること。岡山市内には適応指導教室が 4 か所あるが、不登校の 700 人強のうち 50 人弱しか通っていない。適応指導教室は、学校への復帰を前提にし、時間ごとに予定が決まっているため、なじめないと判断して通わないケースが少なくない。適応指導教室だけでは多様な不登校に対応しきれない現状がある。

4. 「フリースペースあかね」とは

「フリースペースあかね」ではスケジュールは決まっておらず、「自分も相手も大切にする」というルールさえ守れば、何をしてもいい、何もしなくてもいい。あかねには小学生から 20 代の若者まで多様な世代が集う、そこでは様々な事情を持った様々な年齢の子たちが関わることで、たくさんの科学反応が起きてきた。字を書くのが苦手な小学生の男の子が、仲良くなった引きこもりがちな 20 代の女の子に対して手書きで手紙を書いた。お母さんが驚くほどの文量と難しい漢字を一生懸命に書いていた。その手紙をもらった女の子も涙を流して喜び、「恩返しにご飯に連れて行ってあげたい！」とアルバイトを始めるということもあった。誰かが支援をすることよりも、時にひとつの横のつながりがお互いの元気になる。身近な大人の笑顔が子どもの安心につながるという思いから、毎月第二土曜日に「親の会」を開いているほか、何らかの事情であかねに来ることが難しい子どもやお母さんのための訪問相談や、勉強をしたい子への学習支援、いきなりハローワークに行ったりバイトをしたりするのが難しい若者の、「はじめの半歩」を応援するための就労準備支援なども行っている。

感想と意見

- * 「フリースペースあかね」でも不登校活動から引きこもり活動が比重として高まってきた=不登校者も長期間であるために引きこもり者になってきている。「あかね」でも「きびの会」でも子供さんが高齢化実感として受け止めている。
- * いいお話をありがとうございました。このような場所があるということは私達親としても安心です。けれど実際の活動としてはボランティアということなので何か生活のよりどころとなる資金はないものかと思う。本当におしい
- * あかねの家族会は定例の家族会とは別に、「親カフェ」といって、親自身が元気になる、やりたいことをやる“～卓球をやった～”というような取り組みが始まったとのことでした。
- * 映画鑑賞ができなくなり残念でした。個人の意見相談会のようなものでした。はじめの講演の事忘れてしまいました。何かレクリエーションでもして、気分を晴らして帰る事も有りかな

お知らせ掲示板

KHJ親の会名称が変わりました。

2015年12月1日より「特定非営利活動法人全国ひきこもりKHJ親の会（家族会連合会）」が、「特定非営利活動法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会」に名称が変わりました。

この機会にKHJの文字の意味が変更されました。

以前は、K=強迫神経症、H=被害妄想、J=人格障害でしたが、

団体名変更の際して、K=家族会、H=ひきこもり、J=JAPANと意味を変更したとのことです。

NPO法人津山・きびの会

トトロの家 (0868-23-0028) の住所
708-0863 津山市小桁 137-2

5月15日ソシオー番街で「にぎわい市」に参加。焼きそば屋さんを出店。コンニャクやソーメンの寄付があり、売り上げは6万5千円程でした。材料費や諸経費が多くかかり、利益があまり上がりませんでした。15名の参加者があり、会員の家族も数名応援に駆けつけてくれました、

岡山のHPの掲示板に津山のHPがアップされています。プロバイダーの都合で、しばらくヤドカリ状態をお許しください。

連絡先 川島焔三 (090-7541-5263)

ご感想ご意見欄

中山遼さんの個人的な体験と「フリースペースかね」の存在価値の説明が大変分かりやすくて、よかったです。「加点評価」と「逃げ場を作る」という言葉は大変参考になりました。

当事者学級

最終日曜日

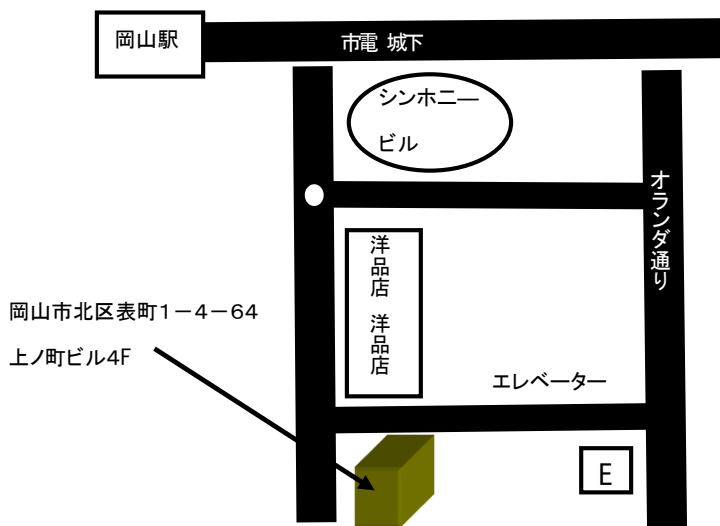
13:30~18:00

きびAU会にお越し下さい。

6月きびの会居場所・行事カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1 居場所	2	3 居場所	4 父親学級 居場所
5 休日	6 居場所	7	8 居場所	9	10 居場所	11 家族教室 居場所
12 月例会	13 居場所	14	15 居場所	16 健康教室	17 居場所	18 松田先生 居場所
19 休日	20 居場所	21	22 居 母親学級 PC教室	23	24 役員会 居場所	25 若者学級 居場所
26 当事者学	27 居場所	28	29 居場所	30		

きびの会 居場所 地図



家族教室 (原則) 第2土曜日 午後1時半～4時 担当:西紀子さん

松田相談日 (原則) 第3土曜日 午前9時～午後6時 担当:松田勝カウンセラー

ご予約:中西 電話 090-9500-9618 または 086-955-2857

料金:会員は1時間3,000円 ※定員8名とさせていただきます

母親学級 (原則) 第4水曜日 午後1時半～4時

当事者学級 (原則) 最終日曜日 午後1時半～6時

父親学級 (原則) 第1土曜日 午後1時半～4時

健康教室 (原則) 第3木曜日 午前11時～4時

若者学級 (原則) 第4土曜日 午後1時半～4時

担当 大阪府療術師会会員 大塚桂子さん

PC教室 (原則) 第3水曜日 午後3時～5時

役員会 第4金曜日 午後1時半～4時

平成12年9月20日 第3種郵便物認可 (毎月25日行) 平成28年6月17日発行 OSK 増刊通巻435号

発行所 岡山障害者団体定期刊行物協会 702-8025 岡山県岡山市南区内尾 739-1 綾部小百合 (TEL 086-298-1162)

無断での掲載、転写は禁じます。(定価100円は会費に含まれています)